

2023 年度加藤・山崎記念寄付金奨学金 募集要項

同志社大学ハリス理化学研究所
加藤・山崎記念寄付金運営委員会

加藤・山崎記念寄付金運営委員会は、フェライトの発明など数多くの創造的業績をあげられた故加藤与五郎博士（同志社ハリス理化学学校卒業）の「優れた創造力を発揮して科学技術を先導し、社会に貢献する人材を育成する」という研究教育理念に沿って「創造科学教育夏期研修」（以下、創研と略します）を、60 余年の長きにわたり毎年夏期休暇中に軽井沢で実施しています。

加藤与五郎先生がご存命中は、独創研究に強い意欲を持つ創研参加学生が大学院に進学する場合、加藤先生ご自身が研究奨励金を支給しておられました。加藤先生の没後、財団法人加藤科学振興会が加藤先生のご遺志を継承して研究奨励金を支給しています。さらに、2018 年度からは同志社大学においても加藤・山崎記念寄付金奨学金として支給することと致しました。本奨学金は、創研参加者の一人でフラッシュメモリ（USB メモリ）や IGZO など数々の優れた発明を世に送り出し続けている株式会社半導体エネルギー研究所社長で同志社社友の山崎舜平氏と、同志社大学名誉教授の故ト部泰正先生のご尽力による寄付金を原資としています。研究に対し自主的かつ意欲的な学生、特に創造的研究、発見、発明の実行に強い関心を持つ学生諸君の応募を期待します。

応募資格：つぎの①、②の要件を満たす学生とします。なお、家計基準はありません。

①創研への全期間参加ができる者。

②つぎのいずれかに該当する本学学生

- ・本学大学院博士前期課程への進学希望者で本学 2 年次以上の学部生。
- ・学部で創研参加の経験がある本学大学院修士 1 年次生。
- ・本学大学院博士後期課程への進学希望の本学大学院生。

※所属学部は問いませんが、創研において科学的・技術的な発表および教員との討論が可能であることが必要です。

※これまでに本奨学金を受給した学生は応募できません。

実施期間

- ・2023 年度の創研は、8 月 10 日～8 月 19 日の約 10 日間に軽井沢研修所において対面実施を予定。（期間は若干前後する可能性があります。詳細は下記 URL にてご覧下さい）

奨学金

- ・1 回 30～50 万円（研修時の態度・成果に応じて支給額は変化します）
※最低支給額は 30 万円。研修終了後に支給額を決定、お知らせします。
※奨学金支給式終了後に振込いたします。

募集人数

- ・数名を予定しています。

応募書類

- ・論文
テーマ：「社会に役立つ実現可能な工業的・技術的な新しいアイデアを独自に考案し、その原理、実現方法などを具体的に説明せよ」
書式：A4 版 2 ページ、形式自由（冒頭にアイデアを表すタイトルと所属、学年、学生 ID、氏名を記入すること）、数式、図表掲載可。Word や PDF（スキャンも可）で作成のこと。
- ・申請書および推薦書
本学教員による推薦書が必要です。
※申請書および推薦書は下記 URL からダウンロードして下さい。申請も同サイトからできます。電子申請の場合は、申請書および推薦書を印刷の後、推薦者が押印したものをスキャンの上、PDF にして提出してください。

<https://soken.doshisha.ac.jp/>



※推薦者にも創研への参加をできる限りお願いしております。

申請の締切：2023 年 6 月 9 日 17 時

（裏面あり）

選考と決定

- ・加藤・山崎記念基金運営委員会で選考のうえ決定し、その結果を本人及び推薦者に通知します。
- ・1次審査（書類審査）・2次審査（面接審査）を予定しています。審査結果の通知は6月下旬以降（1次）、7月下旬以降（2次）を予定しています。
- ・奨学金支給식을11月に開催予定の創研報告会で行います。

その他

- ・創研および本奨学金の詳細は前述のサイトを参照して下さい。
- ・奨学金の支給が決定した者には、研究活動報告書を求めます。

お問い合わせ

- ・申請の事務手続きについては、ハリス理化学研究所事務室（理化学館 1F, jt-riko@mail.doshisha.ac.jp）まで。
- ・論文や推薦者など要項に関する事項については、加藤・山崎記念寄付金運営委員会委員長 土屋隆生（理工学部 ttsuchiy@mail.doshisha.ac.jp）までお気軽に。

以 上